

環境課

【既定】	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進	予算額 209,635 千円
------	-----------------------	----------------

事業の目的・概要

ゼロカーボンシティの実現には、区民等が気候変動問題を自分事と捉え取組を進めていく必要があります。そのため、ゼロカーボンシティ機運醸成事業や、気候区民会議を実施し区民・事業者・区が一体となった取組を進めていきます。

また、再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成、すぎなみエコチャレンジ事業等を拡充して実施するなど、温室効果ガス排出量の削減等を図ります。

主な取組内容

➤ ゼロカーボンシティ機運醸成事業

新規

気候変動対策の様々な取組に参加する区民や事業者を一層増やしていくため、新たに「ゼロカーボンシティ機運醸成事業」を実施します。民間事業者等と協力し、従来の広報・啓発活動では情報が行き届きにくい層や、将来を担う若い世代に対し、新たな手法による効果的な情報発信等を行います。また、科学体験施設「IMAGINUS」と連携し、子どもの夏休みなどの期間に、体験型企画展やワークショップを実施します。これらを通じて、子どもだけでなく大人も楽しみながら気候変動問題に関心を持ってもらうとともに、身近でできる気候変動対策を伝え、行動変容を促します。

➤ 気候区民会議

無作為抽出により選ばれた区民が気候変動対策について有識者等から知見を得て、議論を重ねる気候区民会議を令和6年3月から全6回開催します。会議終了後は、会議で出された意見提案に対して施策への反映を検討するとともに、シンポジウム等により区民に広く周知・報告を行うことで、気候変動対策に関する区民意識の醸成や行動変容につなげていきます。

➤ 再生可能エネルギー等の導入や断熱改修等省エネルギー対策等への助成

拡充

再生可能エネルギーの利用や省エネルギー対策の更なる推進を図るため、太陽光発電システムや省エネルギー機器の導入及び電気自動車用充電設備導入の助成について、拡充して実施します。また、既存住宅における省エネ改修と手軽に取り組むことができる省エネDIYを促進するため、断熱改修等省エネルギー対策助成の対象機器を拡充するとともに、引き続きLED照明機器の切替助成を行います。



【電気自動車用充電設備】

（エネファーム）

（エコキュート）

【省エネルギー機器の例】